

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

はじめの登山

神山小学校 五年 たからべ せな

ぼくは、はじめの山にのぼりました。

その山の名前はいりて岩です。ぼくはものす

ごくきんちようしています。ぼくたちはほん

ちんという人がつれていかせてくれました。

のぼりはじめたときぼくはあわてたので、

しょうじき早くかえりたいなと思いました。

しばらくするとオレンジ色の木が見えてま

ました。手とほっぺを木のふようめんにくっ

つけてみるとひんやりつるつるとしていまし

た。ほんちんが、

「ヒメシヤラとりう木だよ。」

とおしえてくれました。ほかにもあき木がの

めること、イノシシのような大きなきりがふ

かあること、もののけにめぐってくる森みた

りな「こけむす森」があることなどこれまで

し知らなかつたことをおしえてくれました。

いつのまにかあわてがふつとんでさっぱり

として、はやくちよう上にのぼりたいと思いま

3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終った後、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

した。ちよう上につりたらきりしか見えな
 ったけど、だんだんまりがきえていつ
 ても見えませんでした。たいこを取
 ったところは音がなりました。音がな
 ったときちよとびっくりしました。
 さりしよはるむかつたけどのぼつてり
 るとき早くちよう上にいきたいなあ
 と思つてきました。した。とてもり
 り思ひでになりました。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

